堺体操協会 適用規則

2006年改訂版採点規則と大阪高体連2部大会適用規則に準じ、堺適用規則を定める。

<堺春季大会>

◇ 配点	難度	2. 1 0		
	加点	1. 0 0		
	特別要求	2. 0 0		
	実施	4. 9 0		
	合計	1 0. 0 0		

◎ 難度 $7A \times 0.3 = 2.10$

- ・ 同じ技の繰り返しは2回まで認める。(連続してもよい)
ただし、同じ技の連続による難度の格上げはない。
また、同じ技の連続や3回以上の繰り返しによる減点はない。(実施減点はある)

◎ 加点 難度加点または熟練性 1. 0

- ・ B以上の技 = 0. 2
- ・ 熟練性 1技に対しては0. 2までとする。
- ・ 演技全体に対しては0. 5までとする。

◎ 特別要求 $0.5 \times 4 = 2.00$ (難度の指定はしない)

ゆか	①前方系宙返りの技	③力倒立
	②後方系宙返りの技	④終末技
あん馬	①両ポメルを支持しての両足旋回 (中央旋回)	③足交差技
	②馬端部での両足旋回 (サイド旋回)	④終末技
つり輪	①振動技	③力静止技
	②力倒立	④終末技
跳馬	価値点+6. 0 (10点を超えない)	
	・ 足からの着地がなければ0点	
	・ 開脚とびは屈伸飛びとして評価する	
平行棒	①腕支持振動技	③倒立
	②腕立て支持振動技	④終末技
鉄棒	①順手車輪	③鉄棒に近い技
	②逆手車輪	④終末技

*終末技とは、「採点規則」に記載されている技 (高体連適用を含む) をいう。
また、高校2部規定に含まれる技及び終末技を堺特別ルールとしてA難度とする。

◎ 実施 4.90

- ・ 跳馬以外の種目において7部分に満たない演技に対しては、不足した技の数×0.7を減点する。
- ・ 高難度の技に対する減点の緩和はしない。
- ・ 小欠点0.1、中欠点0.2、大欠点0.3、落下0.5の減点とする。

<堺体操選手権大会>

[初級]

◇ 配点	難度	7技×0.3=2.10 (A難度でなくてもよい)
	加点	1.00
	実施	<u>6.90</u>
	合計	10.00

- ・ 同じ技の繰り返しは2回まで認める。(連続してもよい)
また、同じ技の連続や3回以上の繰り返しによる減点はない。(実施減点はある)
- ・ 加点 熟練性 1.0
1技に対しては0.2までとする。
演技全体に対しては0.5までとする。
- ・ 跳馬 価値点+7.0 (10点を超えない)
足からの着地がなければ0点
開脚とびは屈伸飛びとして評価する
- ・ 跳馬以外の種目において7技に満たない演技に対しては、不足した技の数×1.0を実施より減点する。
- ・ 小欠点0.1、中欠点0.2、大欠点0.3、落下0.5の減点とする。
- ・ **B難度以上の技は禁止とし、行えば0点とする。**

[中級]

堺春季大会と同じ

[上級]

◇ 配点	難度	2.00
		2B5A (B=0.5 A=0.2)
	加点	1.00
	特別要求	2.00
	実施	<u>5.00</u>
	合計	10.00

- ・ 熟練性の難度加点は余計に行われたB難度以上の技に対して毎回0.2を加点する。
- ・ その他は中級と同じ